

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***2024. 8. 7**☆

60 歳からの人生を準備するための
【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

老後の生活の準備は先手必勝

発行者：牧野 F P 事務所合同会社代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***通算第 607 号***☆

<目次>

- ◆ 今週のテーマ
- ◆ 今週のポイント
- ◆ 編集後記
- ◆ 「人生の添乗員」牧野寿和のプロフィール

:

- ◆ 今週のテーマ

老後の生活の準備は先手必勝

:

退職後のいわゆる老後の生活の準備は、
働けるうちは働いて、
その時になってから考える。

では遅いです。

なぜ遅いのしょう？

今回は、
その理由とどんな準備をすればいいのか、
考えてみます。

お伝えする内容は次のとおりです。

- ・ 老後の収入を考える
- ・ 老後の支出を考える
- ・ 今後の貯蓄と資産の推移と相続を考える
- ・ だから老後の生活準備は先手必勝

老後の収入を考える

勤めや事業を辞めたあとの収入は、

公的な年金として、
老齢厚生年金や老齢基礎年金が、

勤め先によっては、
企業年金やそのほかの共済年金が、

個人的に準備をしていれば、

iDeCo(個人型確定拠出年金)や
個人年金保険や養老保険、

といった収入を得ることができます。

ただ、何歳から何年間いくら
支給されるのでしょうか？

例えば、公的年金であれば、
生きているあいだ受給できます。

日本年金機構から、毎年誕生月に郵送される
「ねんきん定期便」や
サイトの「ねんきんネット」で、
受給する前から
その受給見込額も確認できます。

他の収入では、例えば、

企業年金は生涯受取れるのではなく、

受給できる期間が、
10年間、15年間と決まっている年金も
ありますので、その確認も必要です。

また、保険商品のなかで、
受取れる額は決まっていますが、

外貨建ての場合は、
為替の変動で日本円での受給額が
変わることもあります。

そのリスクに対応しておくことです。

そして、現役の時代の内に、
老後はいくら収入が減るのか？

その計算もしておくことです。

老後の支出を考える

老後の生活の準備の中で一番大変なのが、
また、一番重要なのが、
老後の支出額を計算しておくことです。

現役時代と同じ額またはそれ以上の
収入があれば、
その準備は必要ないかもしれません。

しかし、現役時代より、
収入が減るなら、必ず準備が必要です。

具体的には、いくら減少するのでしょうか？

一番シンプルな方法は、

老後の生活に入って、
家計支出で増えるもの、
減るものを書出していくことです。

ただ、机上では、
あれもこれも、減らせるだろうと思っても、

客観的に考えてみると、
またこれまでの生活経験や
家計消費動向から、

減らせる額には限界があります。

従って、無理なく減らせる額や、

旅行や趣味の費用など、
老後の生活だからこそ必要になる支出も、

書出していくことが大切です。

今後の貯蓄と資産の推移と相続を考える

そして、年金などの収入から支出を引き
余った金額は、貯蓄に回します。

また足りなければ、貯蓄を取崩します。

老後の生活で、この操作がうまくできないと、
家計が成り立たなくなることもあります。

現役の時代の延長ではなく、
老後の生活用の、

1ヵ月の家計支出額を、
また、貯蓄から取り崩す金額も、
決めておくことです。

また、自身の資産は把握していますか？

把握して、
どのように配偶者や子どもに相続するのか？

その方法も現役中に決めておいた方が、
よいでしょう。

子どもや孫たちに、
譲る資産を、有効に使ってもらうためには、
生前贈与もその方法のひとつです。

また、自身では相続したくても、
もらう方では、
家計の重荷になるかもしれない、

例えば、子どもたちはすでに住宅を購入して、
両親が亡くなると、
空き家になる実家は、

売却するのか賃貸しをするのか？

遺言を残して、
その対策や費用も相続することです。

だから老後の生活準備は先手必勝

このように考えると、

老後の生活に入る前には、
準備することはたくさんあります。

だから、現役中に考えるには、
仕事も忙しくて時間もないので、
老後の生活に入ってからじっくり考える。

といわれる方もみえるでしょう。

しかし、老後の生活でも、
時間はどんどん過ぎていきます。

例えば、生涯暮していけると思ったくらいの
退職金を支給されても、

計画もなく使っていくと、
気が付いたら、ほとんどなくなっていた。

気が付いても、現役時代とは違って、
高額な収入を得る働き先は、
なかなか見つかりません……。

すると、どんな生活になるのか？

だから、老後の生活準備は、
臆することなく、
早すぎるかなと思った年齢からでも、
準備を始めていくこと。

先手必勝なのです。

その例として、公的年金の保険料は、
原則 20 歳から納付します。

..*.*.*.*.*.*.*.*.*

◆ 今週のポイント

..*.*.*.*.*.*.*.*.*

この記事でも「？」だらけ、

それだけ老後の生活は、

不安だらけ！？

また、計画には変更がつきものです。

変更ができるくらいの余裕を持った、

老後の生活の準備が、

理想かもしれません！

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

◆ 編集後記

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

60 歳で定年退職して、

あれよあれよといってる間に、

70 歳になってしまいました！

このまま年を取っていくのかな？

それも幸せ

ただ、ひとつ軌道から外れると

その先の生活は……???

次回、第 608 号は、8 月 21 日（水）

発行予定です。

:*:

◆ 「人生の添乗員（R）」牧野寿和のプロフィール

*:

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる
公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー
創業 21 年目
1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）
以外は、名古屋で居住。

1982年～2001年 旅行会社に勤務。
業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々の
お金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、
初めてファイナンシャルプランナーの
存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003年 牧野FP事務所を創業。
2018年から牧野FP事務所合同会社を設立。
これまでに、
延べ1100件以上の様々な相談に対応。

相談者へのプランニングの助言と提案を
主な業務とし、
相談者に、安心できる生活が送れるように、
丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）
協会 CFP（R）認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士
（資産設計提案業務）
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより愛知、岐阜、三重県、首都圏や関西にもリモートでお会いする機会が増えました。

「人生の添乗員（R）」は、他人を気にすることなく、相談者ご自身にとって有益な提案を心がけています。

◆ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

◆登録・解除は、ご自身でお願いいたします
こちらから出来ます

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

◆本メルマガに関するご意見・お問い合わせは
こちらまでお願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社

公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

◆記事内容に関してのトラブル等について当方では
一切責任を負いかねます
ご自身の責任でご判断下さい

「人生の添乗員」「人生の行程表」は、
牧野寿和の登録商標です
